

学校教育目標

病弱虚弱による様々な困難を改善・克服し、心豊かに生きる児童生徒を育てる。  
人権尊重の精神を基盤に、自己を大切に、他者を思いやる心を持つ児童生徒を育てる。  
自己の能力の可能性を伸ばし、自立や社会参加を目指す児童生徒を育てる。

学校経営スローガン

「笑顔！」で「明るく！楽しく！元気よく！」

めざす児童生徒像

〈自分を大切にできる人〉〈すすんで行く人〉〈助け合う人〉

工事中

学校経営方針

R3年度の重点課題

①育ち合い、支え合いのチームをつくり出す

- ～「対話的な姿勢」「ポリフォニーを大切にできる気風」の醸成～
- ①様々なチームが連動しながら、一人一人の児童生徒への支援や指導を行っていく
- ②保護者、教員参画のチームとしてPTA活動を作っていく
- ③「防災」「感染症等（保健関係）」「こころ」の危機管理について、「人を守る」「こどもたちを守る」観点でシミュレーションや訓練の実施、課題からの改善の提案など、より具体的な対応について共同で行う

②児童生徒の社会とのつながりをつくり出す

- ①児童生徒が安心してさまざまな社会につながる機会を増やし、自分の感覚をとおして学ぶ機会を増やし、社会を知り、課題を考える社会の一員としての成長を促す
- ②新学習指導要領に対応した「社会に開かれた教育課程」を目指し、自立と社会参加の基盤となる学力や社会が求める力(⑤)を育てることができる教育課程の編成に努める
- ③保護者・PTA・医療・福祉・労働等、各関係機関との連携を図り、卒業後の豊かな生活につながるよう努める

③自己決定の力と対話による創造をつくり出す

- ①全教育活動の柱に「キャリア教育」を位置づけ、児童生徒一人一人のニーズに応じたきめ細やかな指導を充実させる  
⇒「自己理解・自己管理能力」「人間関係・社会形成能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の育成を図る
- ②主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、Ⅰ興味関心を持ち、自己のキャリアの方向性と関連づけながら主体的に学ぶ、Ⅱ多様な他者と協働し考えを広げ深める、Ⅲ考え、自己決定、自己選択し、活用、表現する過程で新たな価値を作り出す活動を児童生徒の中に生み出す取り組みを行う
  - 1 授業改善に取り組む。
  - 2 ICT機器や視線入力をはじめとする、各支援機器を学校活動や生活に積極的に取り入れる
- ③地域におけるセンターとしての機能を発揮し、本校、地域の児童生徒の夢のある進路選択に向けて、各学校や医療機関と十分に連携しながら、幼、小、中、高等学校段階における支援を行う

④意義を明確に次のアクションを生み出す話し合いをつくり出す

- ①会議、研修会など、対話から案を生み出す運営を工夫する

⑤支える人材が力を発揮する環境をつくり出す

- ①全教職員が研修に励み、病弱教育についての専門性の向上を図ることができるよう、校内体制を整える
- ②考える過程で変更や修正が可能な、答えを共同で見つけていく、一人一人の人権を大切にできる職場に
- ③多忙感を払拭する、主体的、対話的で深い仕事を目指し、業務の分担と人材育成に取り組む
- ④学校修繕にかかわること、予算にかかわることなど、事務部と連携し、未来に向かう取り組みへの予算配分を行う

- ①全体 各学部分掌でどんな学校を作るのかデザインする
- ②総務 保護者参画の学校活動作り
- ③総務 災害時の備蓄など、より個に応じた防災の企画、実践
- 保健 感染症対策のシミュレーションとPDCAによる対応改善
- いじめ、ハラスメント防止対策委員会 「人を守る」「こどもたちを守る」視点での話し合いと改善への取り組み

- ①学部重複重複グループ 自分の感覚、自分の体験をとおして学ぶ機会を増やす  
支援してもらおう立場だけではなく、社会に貢献する立場の取り組みを作り出す  
生徒支援 児童生徒発信の社会とのつながり作り  
コミュニティスクール、コンソーシアム準備委員会 社会の連携の在り方、子ども発信の社会連携を作り出す（ヒト、コト、モノ探し）
- ②研究研修 学習指導要領の視点での授業改善により、自己理解の課題にアプローチする  
教務/研究研修 学習指導要領に関する研修を2分掌で連携して企画する  
教務 社会との連携、社会参加の学びを教育課程に反映させる
- ③進路支援 重重 G の児童生徒の進路、遠隔進路の取り組みの充実

- ①学部重複重複グループ 「リアルな社会」を、自分の感覚をとおして学ぶ、社会での体験や同世代との関わり、他の子ども達との学びを共有すること等により伝え、自己理解を深める取り組みを進める  
地域社会の課題解決に向けた学びにより、児童生徒の社会参画への取り組みを作り出す
- ②教務/研究研修/全体 教職員の学習指導要領の学びと取り組み  
児童生徒への主体的・対話的で深い学びの授業改善への取り組み  
教務 ICT 業務を集約、管理、学校活動や生活に取り入れる研修等のシステム構築
- ③教育相談 地域の状況の校内への周知、事例の共有による教職員研修

- ①全体 対話と創造を大切にする会議運営やりとりから生む次のアクション  
人権の視点(考える過程で変更や修正が可能な、答えを共同で見つけていく、一人一人の人権を大切にすることを取り入れた対話、会議運営

- ①研究研修 課題、ニーズを探り、学校に必要な研修の企画運営
- ②全体 学校評議員会、学校検討委員会を活用、相互成長、新旧の融合がなされているかの視点を持つ点検の場とする
- ③全体 ミドルリーダーによる業務の分担と、分担による人材育成、だれもが支援し合うチーム作り
- ④事務 関係各部と連携した、未来を見据えた予算配分